

新品種候補（2012年1月作成）

研究課題：とうもろこし(サイレージ用)「SHC0702」

担当機関：北海道農研 酪農研究領域、道南農試 研究部 地域技術G、畜試 基盤研究部 飼料環境G

協力機関：渡島農改 渡島北部支所、

1. 来歴

品種名：「SHC0702」

組合せ：単交雑(デント×デント、構成は不明)

育成者：雪印種苗株式会社(平成18年育成、平成20年予備検定試験)

登録：なし

2. 特性概要(標準品種「LG3520」と比較)

長所は乾物収量がやや多く、推定 TDN 収量が多く、乾雌穂重割合と乾物中推定 TDN 割合が高いこと、耐倒伏性がやや強いこと。短所は特になし。

- 1) 早晚性：絹糸抽出期は同日で、総体乾物率がやや高い。早晚性は“晩生の中”に属する(表1、2)。
- 2) 耐倒伏性：倒伏はやや少ないことから、やや強い(表1)。
- 3) 発芽・初期生育：発芽期はやや遅く、初期生育はやや劣る(表1)。
- 4) 収量性・乾物特性：乾物総重はやや多く、推定 TND 収量は多い。乾雌穂重割合および乾物中推定 TDN 割合は高い(表2)。
- 5) 形態的特性：稈長および着雌穂高はやや低い(表1)。
- 6) 耐病性：すす紋病抵抗性は「3540」より強く、「LG3520」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「3540」および「LG3520」より強い(表3)。

表1 生育特性

場所 ¹⁾	品種名	発芽期 (月日)	初期 ²⁾ 生育 (1-9)	絹糸 抽出期 (月日)	稈長 (cm)	着雌穂 高 (cm)	倒伏 ^{3,4)} 個体率 (%)	すす ^{3,5)} 紋病 (1-9)	黒穂病 個体率 (%)	収穫時 熟度	有効雌 穂割合 (%)
北農研	SHC0702	5.25	4.7	8. 3	281	128	1.8	2.0	3.0	黄中	100.0
(3か年)	LG3520	5.25	6.0	8. 3	287	135	10.0	1.9	8.7	黄中	97.8
畜試滝川	SHC0702	6.01	5.3	8. 9	299	140	0.7	/	/	黄中	100.0
(平成21年)	LG3520	6.01	5.0	8.10	296	143	0.0	/	/	黄中	96.7
八雲町	SHC0702	6.05	8.0	8. 8	272	110	0.4	2.8	/	黄中	100.0
(2か年)	LG3520	5.31	9.0	8. 8	307	144	2.3	3.3	/	黄中	94.0
平均	SHC0702	5.30	5.7	8. 5	281	124	1.2	2.3	3.2	黄中	100.0
	LG3520	5.28	6.8	8. 6	295	139	5.8	2.2	8.7	黄中	95.9

注1) 北農研は平成21～23年、八雲町は平成22～23年の平均値。

畜試滝川は21年度の値。平均は場所・年度別試験の平均値。

2) 1：極不良～9：極良の評点。 3) 発生の見られた試験の平均。空欄は未測定、／は発生のなかったことを示す。

4) 倒伏と折損の合計。5) 1：無～9：甚の評点。

表2 収量特性

場所	品種名	10a当たり収量 (kg)								乾物率			乾雌穂	乾物中
		生総重	左比 (%)	乾物			左比 (%)	推定 TDN	左比 (%)	茎葉	雌穂	総体	重割合 (%)	推定TDN (%)
				茎葉	雌穂	総重								
北農研 (3か年)	SHC0702	7573	96	994	1185	2179	101	1586	105	18.7	52.4	28.8	54.4	71.9
	LG3520	7879	100	1214	946	2160	100	1511	100	19.7	55.3	27.4	43.7	70.5
畜試滝川 (平成21年)	SHC0702	7682	96	999	1000	1999	98	1431	101	18.0	47.0	26.0	50.0	72.0
	LG3520	7973	100	1147	886	2033	100	1421	100	18.6	49.5	25.5	43.5	69.9
八雲町 (2か年)	SHC0702	7382	102	940	1125	2065	107	1504	110	18.3	50.2	28.5	54.6	72.9
	LG3520	7209	100	998	930	1928	100	1371	100	18.4	53.1	26.2	48.3	70.6
平均	SHC0702	7527	98	977	1134	2111	103	1533	106	18.5	50.8	28.2	53.7	72.6
	LG3520	7671	100	1131	931	2062	100	1449	100	19.1	53.6	26.7	45.2	70.1

注) 推定TDN収量は新得方式による(推定TDN収量=乾茎葉重×0.582+乾茎重×0.850)による。

表3 病害抵抗性に関する特性検定試験結果(北海道農研)¹⁾

品種名	すす紋病			ごま葉枯病		
	H22.9.1	H23.8.29	平均	H22.9.2	H23.9.5	平均
SHC0702	4.0	5.0	4.5	2.3	2.7	2.5
LG3520	3.7	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0
3540	6.0	6.0	6.0	4.3	4.0	4.2

注) 病菌接種による罹病程度の評点値(1:無~9:甚)

3. 優良品種に採用しようとする理由

とうもろこしサイレージは高栄養価自給飼料として高く評価されており、世界的な穀物価格高騰の情勢から、その重要性が増している。良質なサイレージ原料を確保するためには各栽培地帯において安定した生産性を発揮できる優良品種を選定することが重要である。「SHC0702」は早晩性が“晩生の中”に属し、対象地域での安定栽培が可能である。

4. 普及対象地域および普及見込面積

道央中部(上川を除く)、道央南部および道南地域 600ha

5. 配布しうる種子量

15t

6. 栽培上の留意点

なし